



千一三村小

中央市立三村小学校
学校だより第13号
令和5年3月24日
校長 田中 真也

【学校教育目標】『夢をもち 主体的に学ぶ子どもの育成』（「やる気」「やさしさ」「こん気」「げん気」を育む学校）

「第145回 卒業証書授与式」 挙行！



～学び舎を巣立つ、58名の卒業生～

「夢と希望をもって」のテーマのもと、第145回卒業証書授与式が3月17日（金）に行われました。厳かな中にも、心温まる卒業式になりました。例年より早い、うららかな春の日差しが降り注ぐ中、きれいに飾られた会場には、卒業制作のオルゴールボックス、一人一人の好きな言葉が力強く書かれた卒業の書が展示されました。午前9時、5年生の「春！」「希望の春…」という呼びかけが式場に響き渡り、在校生の大きな拍手の中、堂々の入場で式は始まりました。担任の呼名で登壇した卒業生に、本校で6年間の小学校の教育課程を修了した証、卒業証書が手渡されました。緊張の中にも自信と誇りに満ちた堂々とした姿でした。式辞、来賓の方々のお祝いのことばに続き、いよいよ卒業生と在校生との呼びかけ「巣立ちの言葉・贈る言葉」が始まりま

した。卒業生から、6年間の思い出や三村小学校を託す在校生への願いが表現されました。在校生からは卒業生との思い出や感謝の言葉が伝えられました。最後に卒業生からこれまでお世話になった方々への感謝と未来へ向けての決意が表現され、「旅立ちの日に」を高らかに歌いあげて、「巣立ちの言葉・贈る言葉」が締めくくられました。

マスクをしながらではありましたが、卒業生・在校生共に一人一人が担当する言葉を大きな声で言うことができました。合唱曲も心揺さぶる歌声が響き渡り、心地よい感動に包まれました。卒業生、保護者だけでなく在校生の目にも感動の涙が光っていました。

卒業生一人一人がこれから「夢と希望をもって」一歩ずつ前進していくことを、心から願っています。



♡あかとうの気持ちか伝えられました♡

3月1日、お世話になった6年生に全校で感謝の気持ちを表そうと、「あかとうの会」を行いました。新児童



会役員が中心となって、各学年ごとに仕事を分担して、早くから準備を進めてきました。

当日は、全校が体育館に集まって実施しました。6年生は、2年生からプレゼントされた大きなメダルを首から下げ、新児童会本部の紹介に



合わせて花道を入場してきました。思い出のスライドの発表、縦割り班ごとのプレゼント贈呈、各学年代表からの呼びかけと、な

ごやかな雰囲気にもまれながら会が進みました。6年生からお礼として「栄光の架け橋」の合奏が披露されました。美しい音色で素敵でした。さすが6年生だなとあらためて感心しました。

新児童会役員の皆さん、初めての大事な仕事ご苦労様でした。これからも児童会のリーダーとして自信を持ってがんばってもらいたいと思います。児童会のよき伝統が引き継がれていくことを願っています。

須貝選手をお招きして

3月6日に、ヴァンフォーレ甲府で今シーズン、キャプテンを任されている須貝英大選手をお招きして、卒業記念トークイベントを行いました。今回、三村小学校が須貝選手の母校であるということで、このイベントが実現しました。



当日は、4年生から6年生までを対象に、小学

校時代の思い出やプロ選手になるまでの道のり、プロ選手としての生活等についてお話いただきました。また、夢を叶えるまでに大切にしてきたこと、考えてきたことなども子供達へのメッセージとして熱く語っていただきました。さらに、子供達とボールを使ってパス交換をしていたり、サインを書いていたいたりもしました。

プロ選手として活躍している先輩の話を通じて直接聞くことができたり、ふれあったりすることができて、子供達もとてもうれしそうでした。大変貴重な機会となりました。きっと忘れられない思い出になることでしょう。

花を植えていただきました

3月7日に、ことぶきクラブ玉穂支部の皆さんが、校庭東側歩道にあるプランターに花を植える作業をしてくださいました。早朝にも関わらず、大勢の方がご参加されていて、プランターに花を植える作業と合わせて、歩道の清掃も行ってくださいました。ことぶきクラブの皆様ありがとうございました。



雑巾を寄贈していただきました

3月13日に社会福祉協議会より市民ボランティアが手縫いした雑巾60枚を寄贈していただきました。学年末の清掃等で大変重宝いたします。ありがたく使わせていただきます。



【あとかぎ】

最後になりましたが、この一年間、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動にたくさんのご理解とご支援をいただきましたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今後とも三村小学校をよろしく願います。